

# TSA

TOBA SUPER AQUARIUM

No.86 WINTER 2024



特集

## 鳥羽水族館70年の軌跡

TSA 特別講座

ウミネコから学ぶ

「見えないつながり」の大切さ

風間 健太郎

地球で遊ぼう！

イモムシのすすめ

桃山 鈴子



鳥羽水族館

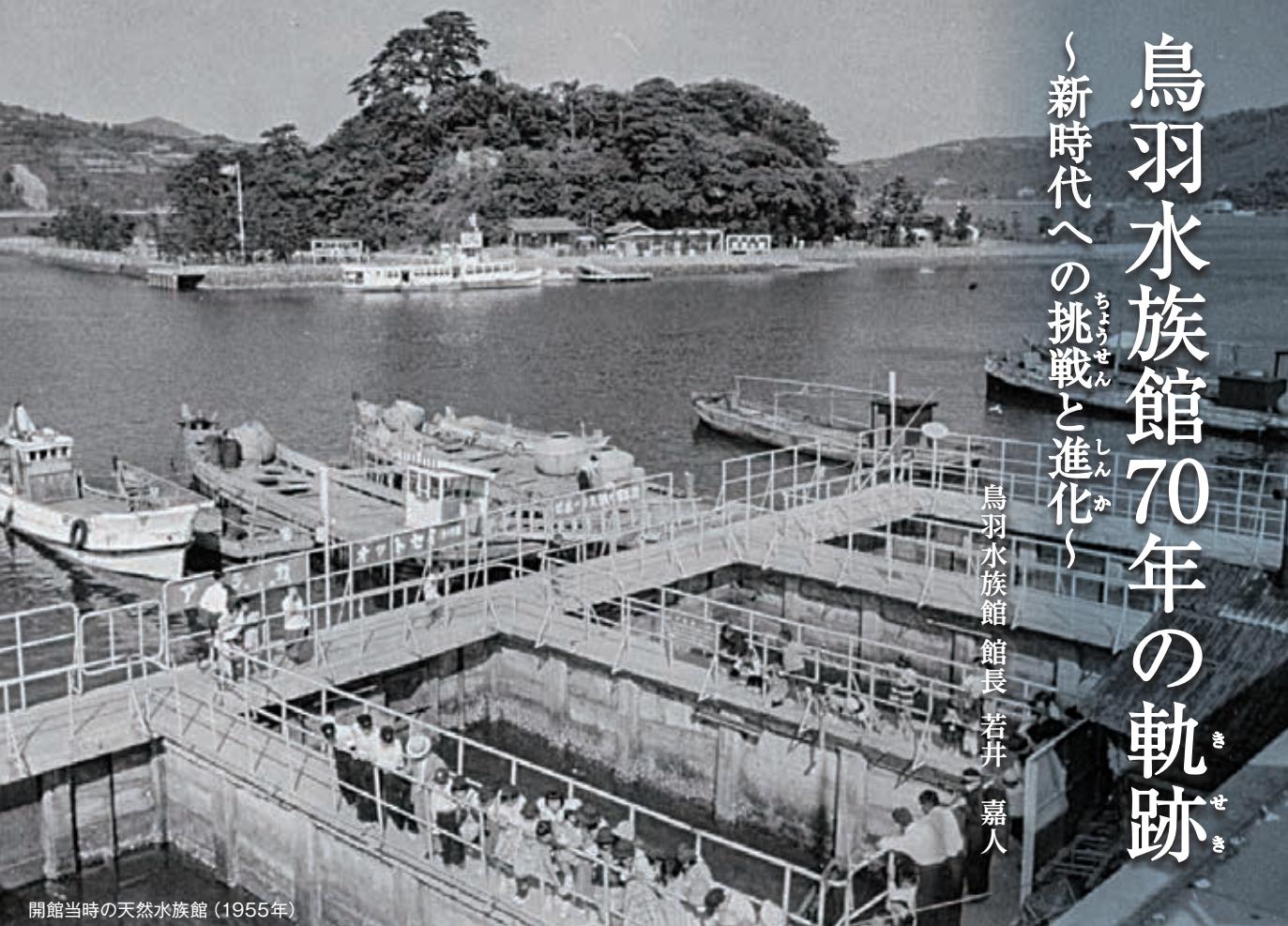
ISSN 0916-9725



# 鳥羽水族館70年の軌跡

～新時代への挑戦と進化～

鳥羽水族館 館長 若井 嘉人



開館当時の天然水族館（1955年）



世界初のスナメリ飼育下出産（1976年）



世界初のドーナツ形円形水槽（1957年）



中村名詮館長（左端）とガイドさん（1950年代）

●ガイド付き水族館  
1956年、観光バスガイドをヒントに日本初のガイド付き水族館として、入館者に生物の生態や面白さを解説するサービスを開始。これが好評で入館者の質問に答えたり、地元伊勢志摩の観光についても案内出来ることから話題となり、お客様も次第に増えることとなつた。新入社員は与えられた「ガイドブック」を必死で暗記し、団体旅行のお客様から依頼があると飼育係はもちろん、営業部・販売などからも応援に駆け館内を案内した。

●未知への挑戦・スナメリの飼育開始  
1963年、漁師の網にかかつたスナメリ2頭が突然当館に持ち込まれた。スナメリは、仙台湾以南、東京湾、瀬戸内海など沿岸性の小型のイルカの仲間で、鳥羽水族館の目前の伊勢湾にも生息している。当時スナメリの生態については不明な点も多く繁殖も難しいとされており、長く生かすことが困難な動物であつたが、飼育係は試行錯誤を繰り返しながら根気よく基礎データを蓄積した。1969年、

折しも周辺の海岸線の整備工事とともに天然水族館を閉鎖し、繁殖のための海獣類の飼育施設を建設することになり、長期飼育への期待がかかる。1970年、スナメリ・アシカを飼育する新施設「マリンスタジアム」がオープン。その成果は1976年、世界で初めて「スマメリ」の飼育下における出産の成功となつて花開く。また1977年：成長期（1970年代～1980年代）

（1970年代～1980年代）  
●成長期を支えた「人・物・事」  
1970年、スナメリ・アシカを飼育する新施設「マリンスタジアム」がオープン。その成果は1976年、世界で初めて「スマメリ」の飼育下における出産の成功となつて花開く。また1977年：79年には、念願であった人魚伝説のモデル・ジュゴンをフィリピンから搬入し話題となつた。こうして開館当初年間14万人だった入館者数は、施設の充実・新規動物の入館とともに徐々に増加しつづけ、79年には、フィリピンで保護された赤ちゃんジュゴン「セレナ」が日比友好の証として鳥羽水族館へ寄贈されることになった。パンダイルカと呼ばれるイロワケイルカがやって来たのもこの頃で



フィリピンで保護されたジュゴンセレナ畜養風景（1987年）



ラッコの赤ちゃん「チャチャ」誕生（1984年）

鳥羽水族館は、2025年に創立70周年を迎える。1955年5月15日、三重県鳥羽市の海産物商・丸幸商店の生簀を熱心に覗き込む観光客を見た創業者が「得た利益はすすんで学術研究に投げる」は、當時日本の政財界の大御所、博物館の権威といわれた丸幸商店は、当初水族館の敷地内にあり、店の従業員も水族館の従業員も一緒にならぬ決意が見てとれる。

## 創成期（設立～1960年代）

●始まりは「コンクリート生簀」  
当初は海岸の一部を取り入れた「天然水族館」と称する簡易なコンクリートの生簀で、500坪ほどの池を4つに仕切り、ベンギン・アシカをはじめ、タイやブリ、イシダイなどが泳ぐ様子を見せていた。ちなみに前述の丸幸商店は、開業前新聞記者として腕を磨いた天性の情報収集能力とチャレンジ精神を生かし、以後様々な企画を打ち出した。

オープンはしたものの、特に珍しい動物がいたわけではない。当時ユニークなアイディアマンとして知られた中村館長（当時）は、開業前新聞記者として腕を磨いた天性の情報収集能力とチャレンジ精神を生かし、以後様々な企画を打ち出した。

●始まりは「コンクリート生簀」  
当初は海岸の一部を取り入れた「天然水族館」と称する簡易なコンクリートの生簀で、500坪ほどの池



奇跡の森 オープン式典 (2015年)



ダイオウグソクムシNo.1 (2014年)



へんな生きもの研究所 開所式 (2014年)



新館全棟オープン (1994年)

● **国内外施設との連携による関係強化**  
2000年代に入るとグローバル化がさらに進み、海外水族館や大学

この頃、これまでの飼育技術の蓄積がようやく実を結ぶ。  
2012年「オウムガイとオオベソオウムガイの繁殖」、2014年「スナメリの飼育下繁殖」と人工哺育の実績が公益社団法人日本動物園水族館協会より認められ、希少動物の繁殖に特に功績のある「古賀賞」を受賞した。これらはなく長い年月をかけて当館が築き上げてきた努力の証である。

● **社会に認められた業績**  
この頃、これまでの飼育技術の蓄積がようやく実を結ぶ。  
2012年「オウムガイとオオベソオウムガイの繁殖」、2014年「スナメリの飼育下繁殖」と人工哺育の実績が公益社団法人日本動物園水族館協会より認められる入館者数を少しでも食い止めるべく、全社をあげて不断の話題作りと情報発信の努力が続けられた。

### ・新水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

る新水族館建設計画が持ち上が

る。全盛期は過ぎたとはいえた

まことにバブル、総合保養地域整備

法(リゾート法)の適用という追

い風を受け、ついに1990年7

月、新館(一期)が完成。その4

年後にはラッコ・ジュゴン・イロ

ンゴ水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

る新水族館建設計画が持ち上が

る。全盛期は過ぎたとはいえた

まことにバブル、総合保養地域整備

法(リゾート法)の適用という追

い風を受け、ついに1990年7

月、新館(一期)が完成。その4

年後にはラッコ・ジュゴン・イロ

ンゴ水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

る新水族館建設計画が持ち上が

る。全盛期は過ぎたとはいえた

まことにバブル、総合保養地域整備

法(リゾート法)の適用という追

い風を受け、ついに1990年7

月、新館(一期)が完成。その4

年後にはラッコ・ジュゴン・イロ

ンゴ水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

る新水族館建設計画が持ち上が

る。全盛期は過ぎたとはいえた

まことにバブル、総合保養地域整備

法(リゾート法)の適用という追

い風を受け、ついに1990年7

月、新館(一期)が完成。その4

年後にはラッコ・ジュゴン・イロ

ンゴ水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

る新水族館建設計画が持ち上が

る。全盛期は過ぎたとはいえた

まことにバブル、総合保養地域整備

法(リゾート法)の適用という追

い風を受け、ついに1990年7

月、新館(一期)が完成。その4

年後にはラッコ・ジュゴン・イロ

ンゴ水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

る新水族館建設計画が持ち上が

る。全盛期は過ぎたとはいえた

まことにバブル、総合保養地域整備

法(リゾート法)の適用という追

い風を受け、ついに1990年7

月、新館(一期)が完成。その4

年後にはラッコ・ジュゴン・イロ

ンゴ水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

る新水族館建設計画が持ち上が

る。全盛期は過ぎたとはいえた

まことにバブル、総合保養地域整備

法(リゾート法)の適用という追

い風を受け、ついに1990年7

月、新館(一期)が完成。その4

年後にはラッコ・ジュゴン・イロ

ンゴ水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

る新水族館建設計画が持ち上が

る。全盛期は過ぎたとはいえた

まことにバブル、総合保養地域整備

法(リゾート法)の適用という追

い風を受け、ついに1990年7

月、新館(一期)が完成。その4

年後にはラッコ・ジュゴン・イロ

ンゴ水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

る新水族館建設計画が持ち上が

る。全盛期は過ぎたとはいえた

まことにバブル、総合保養地域整備

法(リゾート法)の適用という追

い風を受け、ついに1990年7

月、新館(一期)が完成。その4

年後にはラッコ・ジュゴン・イロ

ンゴ水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

る新水族館建設計画が持ち上が

る。全盛期は過ぎたとはいえた

まことにバブル、総合保養地域整備

法(リゾート法)の適用という追

い風を受け、ついに1990年7

月、新館(一期)が完成。その4

年後にはラッコ・ジュゴン・イロ

ンゴ水槽、2007年海獣の王国、

2008年水の回廊新水槽、2010

年伊勢志摩の海・ヤングルワール

ド、2013年へんな生きもの研

究所、2015年奇跡の森などが

続々とオープンする。年々下がり続

ける入館者数を少しでも食い止め

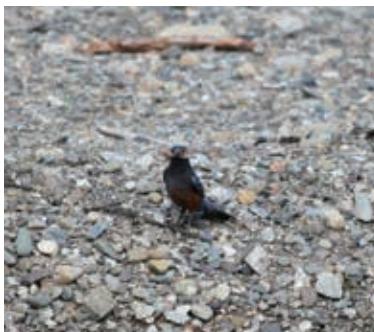
る。そんな折、鳥羽水族館史上最

大のタイミングポイントともいえ

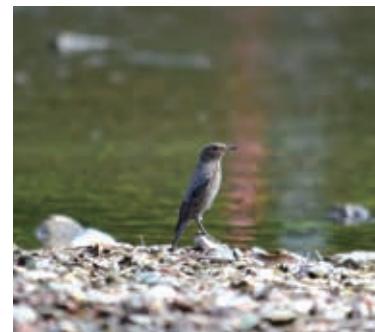
る新水族館建設計画が持ち上が



ハクセキレイ幼鳥



青い羽が美しいイソヒヨドリ（オス）



イソヒヨドリ（メス）



季節が移ろう五十鈴川の空

# 三重の 水辺紀行

— 夏から秋へ —

自然あふれる三重の水辺を巡る



ヒガンバナも咲いてきました



セグロセキレイ



足元には小魚が

暑くなつてくると水に入りたくなりませんか？ 浅瀬でチャブチャブと水遊びをするのが最高ですが、なかなか行けない： そんな日に、どうしても水に浸かりたくなり、足だけでもと訪れたのが五十鈴川です。階段を降りると目の前に川が流れています。冷たい水に足を浸すと小さな魚たちが近づいてきました。幼い頃に泳いだ川でも、足元に寄つてくる魚たちに目を凝らしていました。なあ、と懐かしい気持ちになります。

日差しは暑くとも川面を渡る風は気持ちよく、小魚を狙つ鳥たちを眺めながら、せせらぎに耳を澄ませる：最高の涼み方です。その時間にすっかり虜になつた私は、その後も訪れるようになりました。

そして、ある日。

ぼんやりと川面を眺めていると、緑の光が走りました。え？ 何？ と光を目で追いかけると、土手に止まり、時々飛び回っています。距離があるのに、緑の何かが飛び回っているのが分かるのです。とても綺麗な縁です。この色はカワセミ？ こんなに飛ぶスピードが速いんだ、といふ驚きと、初めて見た喜びが押し寄せました。小さな緑の光はしばらく

く対岸を飛び回った後、姿を消してしまいましたが、名残惜しく立ち去れないでいる、また川面を直線的に飛ぶ所が見られました。カワセミを見つめる私の後ろでは犬を散歩させている人が通つて行つたりと、ごく普通の河原の風景です。人が通りかかる場所でもカワセミが身近に見られるんだなあ、と驚きました。そして、思いがけず良いものを見せてもらつたと嬉しく思いました。

そんな時にTSAの執筆依頼が来たのです。

それならカワセミの写真が撮れたらいいな、とカメラを持って通い出しましたが、姿を見ないので。時々来る程度なのか、時間帯なのか、時期なのか。色々と考えながら川面を見つめていると、あのカワセミに出会えた時間が、ますます貴重なものに思えてきました。初めて訪れた時は夏だったので、カワセミを探して通ううちに季節はすっかり秋になりました。目的の写真は撮れませんでしたが、肉眼ではハツキリと分からなかつた他の鳥が写真で確認できたのも、楽しい時間でした。これからも訪れたいと思います。

飼育研究部 山本いづ保

## 生きものたちに

会いたくて



色鮮やかな三色キベラ（金賞です）



ロープで休むアナハゼ（金賞です）

たり、カニやヤドカリが餌を食べていたりもして、次から次に色々な生きものたちが目の中に飛び込んできます。そしてそろ一とつと防水カメラを水に沈め撮影スタートです。魚がいる方向にカメラを向け、パシャパシャ写真を撮り放題です。昔はフィルムだったのケチケチしながら写真を撮っていましたが、今はデジカメなので撮り放題です。ピンボケもいっぱいですが、中にはまあまあ使える写真も混ざっているのです。きれいなニシキベラ、ロープで休むアナハゼの写真は「金賞」でしょうか？その後も何回か漁港に出かけてみましたが、11月4日には、ちょっと

珍しい生きものに出会うことができました。いつも通り岸壁の上から覗いていた時、50センチほどもある細長い魚影がスースと通過していくのに気が付きました。アカヤガラです。もう出会えないかと思つていたのですが、その後もその個体は何度も私の前を行つたり来たりしてくれました。私と目が合つることもあり、「何やねん」というような表情でこちらを見ていたのにはちょっとヒックになりました。私が合つともあり、「何やねん」というような表情でこちらを見ていたのにはちょっとヒックになりました。私が合つともあります。しかし漁港の環境も少しずつ変化しています。現在、全国的に漁港さんの数が減つており、鳥羽周辺の漁港もどんどん寂しくなってきました。また若い手の減少は、地球とともに生きる魚たちの命が危ぶんでいます。しかし漁港で見かける生物が少しずつ南方系のものに変わつて来ていること、浮いているゴミにプラスチックが増えてきたこと

漁港の中は本当にたくさん生きもののたちであふれています。堤防でさえぎられているため波は穏やかですが、テトラポッドがあつたりロープが垂れたりして隠れ家はいっぱいです。漁師さんが捨てた魚の死骸などの餌もありますし、海の生きものたちには暮らしやすいよう



水面に群れるトウゴロウイワシの仲間



こちらをじろりと見るアカヤガラ



こちらをじろりと見るアカヤガラ



枯れ葉のようなアオリイカ子供



体色を変え触腕を延ばすアオリイカ子供

## ●第81回● 楽しい漁港水族館

飼育研究部長 若林 郁夫

漁業が盛んな三重県の海岸線には、たくさんの漁港があります。今回鳥羽市南に位置する漁港2カ所と南伊勢町の漁港2カ所に何度も通い、見つけた生きものの写真を撮つてみるとしました。と言つても漁港の中ですし、水も冷たいので、ウエットスーツを着て潜るわけにはいきません。私のウォッチングと撮影は、かけたので、そこで出会った生きものたちのことをご紹介することにしました。

鳥羽周辺の志摩半島には、大小20カ所程の漁港があります。今回は鳥羽市南に位置する漁港2カ所と南伊勢町の漁港2カ所に何度も通い、見つけた生きものの写真を撮つてみるとしました。と言つても漁港の中ですし、水も冷たいので、ウエットスーツを着て潜るわけにはいきません。私のウォッチングと撮影は、

10月31日には3カ所の漁港を回つてみました。岸壁をゆっくりと歩きながら、水中を覗き込み、生きものの姿を探して行きます。水面に細長い魚が群れで泳いでいるかと思えば、水深50センチのところにきれいな魚がい

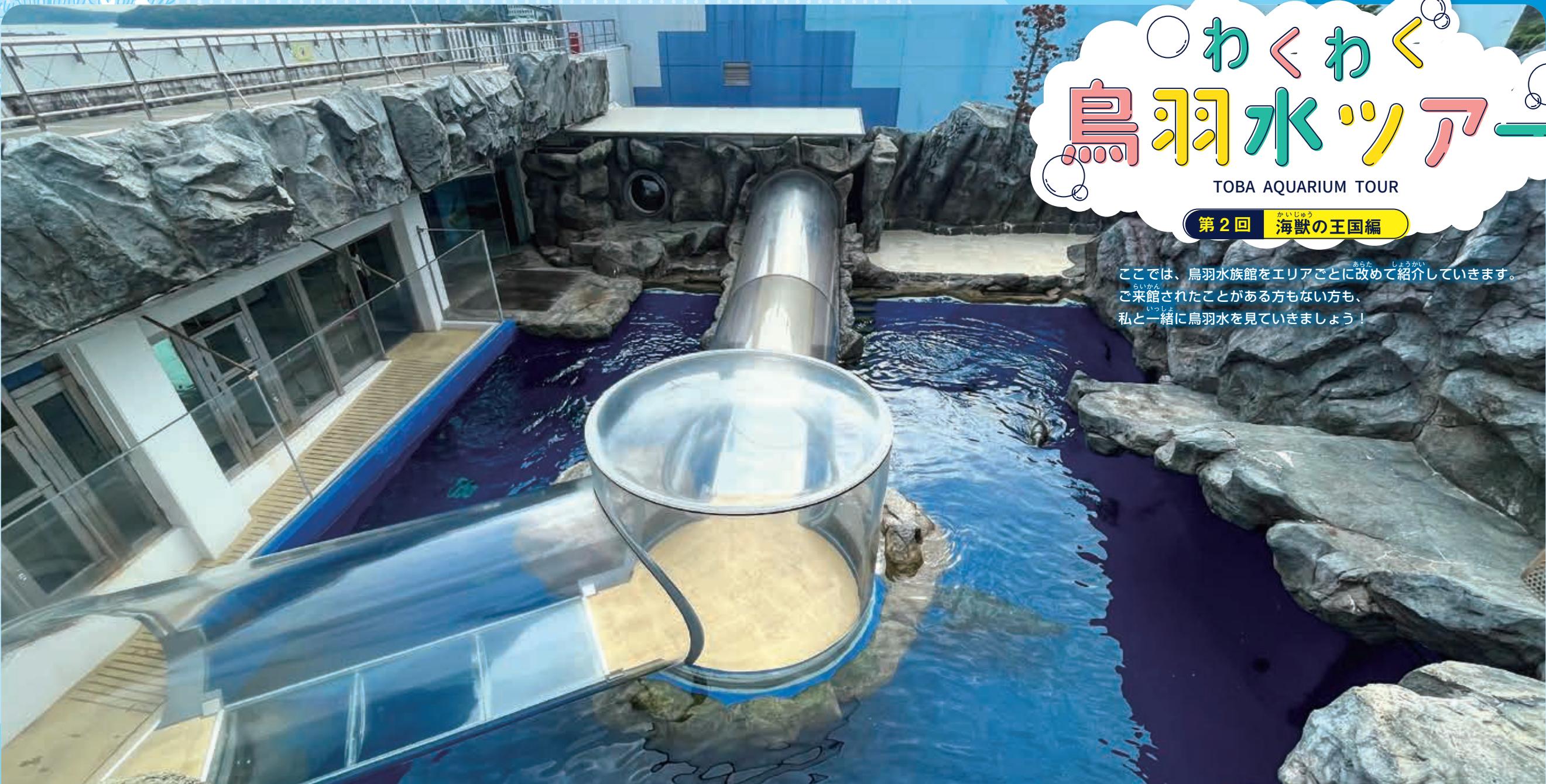
す。特に秋は、漁港の中に魚の子供たちがたくさん集まる時期ですのでチャンスかもしれません。

しかし漁港の環境も少しずつ変化しています。現在、全国的に漁港さんの数が減つており、鳥羽周辺の漁港もどんどん寂しくなってきました。また若い手の減少は、地球とともに生きる魚たちの命が危ぶんでいます。しかし漁港で見かける生物が少しずつ南方系のものに変わつて来ていること、浮いているゴミにプラスチックが増えてきたこと

と、本当に心配でなりません。たくさんの魚が水揚げされ、漁師さんたちの活気があふれる漁港が存続され、楽しい漁港水族館がいつまでも楽しめたらしいのになーと思ってしまいます。皆さんにも漁港へ出かけてほしいのですが、くれぐれも海に落ちないように…。



写真撮影の様子



わくわく  
鳥羽水ツア

## TOBA AQUARIUM TOUR

# 第2回 かいじゅう 海獣の王国編

ここでは、鳥羽水族館をエリアごとに改めて紹介していきます。  
あらたな方が  
鳥羽水族館を来館されたことがある方もない方も、  
いらっしゃるかん  
私と一緒に鳥羽水を見てきましょう！

「第2回目は、Bコーナー」「海獣の王国」です！こちらでは、ショーケース中に見られないアシカやアザラシの仲間達がのびのびと過ごしている様子や、トレーナーの解説付きで毎日行われる「お食事タイム」をご覧いただけます。それもいろんな角度から見ることができるのでよ。陸場から、水上透明チューブの中から、屋上から！見どころ満載です。見逃すことのないよう、しっかりとついてきてくださいね！」

まずは、2階のメインストリートから見てみましょう。ガラスのすぐ奥には、一見すると普通の陸場に見えるスペースがありますが、そこは体重計になつていて、アシカやアザラシたちが乗ることで体重測定をすることができるようになっています。毎日のお食事タイム中に、トレーナーの合図でしつかりと体重測定を行っているんですよ！さらに、奥には透明のトンネルのようなものがあります。こちらは2018年に新設された「水上透明チューブ」で、中を通つてみると、すぐ横で日向

立つてゐる真下を泳ぐ様子が見えます。まるで海獣の王国に入り込んだかのような感覚になります。ぜひ通つてみてください！また泳いでいる様子は、1階の水中部分からも見ていただけます。泳ぐスピードや水中での動きに注目です。

トへ上がってみましよう。上の写真にあるように全体を見渡すことができます。晴れている日は、ここからお食事タイムを見るのでオススメですよ。また隣には、浅く水が張られた水槽があります。こちらはアシカやアザラシ達が出産と育児を行いやすいように、「ヒレアシ育成水槽」として、水上透明チューブとともに新設されました。現在も、オタリアの親子が展示されています。可愛い親子の様子をぜひご覧ください！



## バックヤード紹介

バックヤードで過ごす個体も、トレーニングを行っています！展示水槽へ移動する際、スムーズに行き来できるようにするために、また体調管理に繋げるために、毎日のトレーニングは欠かせません。



新設された「ヒレアシ育成水槽」には、2024年8月14日に生まれたオタリアの子どもが母親のがっちゃんとともに展示されています。親子でじゃれあったり、プールで一生懸命泳ぐ子どもの様子に飼育係も癒されています。こちらは期間限定なので、お見逃しなく！



普通の床に見えますが、この下には体重計が備わっています！トレーナーの指示をしっかり聞いて、カリフォルニアアシカのリックくんが体重計へ。右上の表示で、実際の測定結果を見ることができます！今日の体重は何キロかな？

陸場でも、トレーニング中など様々な動きを見せてくれますが、広い水槽の中でいきいきと泳ぐ姿も見ごたえがあります！写真のように、ガラス近くにも来てくれますよ。でもすぐに通り過ぎてしまうので、よく見ていてください！



館内見取り図



たんとうしゃ  
担当者おススメポイント!!

1日2回行っているお食事タイムはメインストリートから見るのが人気ですが、水上透明チューブの中から見るとこんな大迫力の姿を見ることができるかも！？

他にも屋上や水中など色々な場所から動物たちの動きをご覧ください！



# ウミネコから学ぶ 「見えないつながり」の大切さ

早稲田大学人間科学学術院 准教授 風間健太郎

## 嫌われもの力モメ

波打際を軽やかに飛び散らし、あたりかまわずやかましく鳴き、時々ゴミをあさつて散らかしたり人間から食べ物を奪つたりするからです。それでも、カモメは漁港にたむろしながら食べ物を奪つたりするなど様々な被害をもたらすため、漁師からはとくに嫌われています。

## 北海道利尻島の「害鳥」 ウミネコ

ウミネコは日本で最もふつうにみられる中型のカモメです。北海道利尻島には日本最大のウミネコの繁殖地があり、その数は最大で10万羽近くにのぼります（写真1）。ウミネコは普段は一日の大半を海上で過ごしますが、春から夏の繁殖（子育て）の時期になると上陸して集団で巣を作ります。毎年2～3個の卵を産み、1ヶ月ほど卵を抱き、その後2か月ほどかけてヒナを巣立たせ

ます。ヒナを育てる間、ウミネコは島から100km以上も離れた沖合まで一日に2～3回も出かけて魚をとり、巣まで持ち帰つてヒナに与えます（写真2）。

利尻島は、高級だし昆布として有名なリシリコンブが特産です。毎年初夏になると海から揚げたりシリコンブが天日干しされます（写真3）。ウミネコは、干されたリシリコンブにフンを落とすことがあるため、漁師から「害鳥」としてとても嫌われているのです。リシリコンブを干す場所の近くでは、ウミネコの追い払いが行われたり、ウミネコ除けの釣り糸が張られたりして、運悪くウミネコが釣り糸に絡まつてケガをしたり死んでしまつたりすることもあります。

## 「害鳥」ウミネコがはぐくむ リシリコンブ

私の最近の研究から、漁師からとても嫌われているウミネコが実はシリコンブをはぐくんでいることがわかつてきました。繁殖期の間、ウミネコは沖合から陸上の巣までせつせと餌を運んでくることを説明します

動によつて世界中の海の水温は上がり続けており、冷たい水を好むコンブが生育しにくくなっています。北海道でも海水温は年々高くなつており、この30年ほどでコンブがどれどりょうは大きく減っています。このままではいずれ利尻島の海でもリシリコンブが育ちにくくなると言われています。利尻島でこれからも安定的にリシリコンブをとつていくには、ウミネコを大切にして、より多くのウミネコに沖合の栄養分を利尻に届けてもらひ、少しでも多くのコンブをはぐくんでもらう必要があります。

近年、地球の豊かさを守るために、生きもの（資源と呼びます）を持続的に利用することを目標としたSDGsが声高に叫ばれています。「持続的」とは、人々が今だけ・自分だけの都合で考えず、子供や孫、さらにはそれよりもずっと先の子孫のことを考えながら、彼らに今と同じことを言います。地球の資源を持続的に利用するためには、資源が

## 見えていないつながりを 知ることの大切さ

現在多くの生きものが減つていま

す。利尻島ではまだかろうじて数を保つてゐるウミネコですが、餌不足、ネコなどの外来種の出現、人間による追い払いなどによって、ここ

40年ほどの間日本各地でその数を7割以上も減らしています。現在、気候変

現が多くの生きものが減つていま

す。利尻島ではまだかろうじて数を保つてゐるウミネコですが、餌不足、ネコなどの外来種の出現、人間による追い払いなどによって、ここ

40年ほどの間日本各地でその数を7割以上も減らしています。現在、気候変

現多くの生きものが減つていま

す。利尻島ではまだかろうじて数を

保つてゐるウミネコですが、餌不

足、ネコなどの外来種の出現、人間

による追い払いなどによって、ここ

40年ほどの間日本各地でその数を7割以上も減らしています。現在、気候変

現多くの生きものが減つていま</p

## 桃山鈴子

東京生まれ。昆虫学の授業で顕微鏡を使った観察スケッチを学んだことが絵画表現の原点になっている。個展多数。2022年細見美術館の「虫めぐる日本の美」展に出品。2024年鎌倉文華館・鶴岡ミュージアム「蟲(むし)???養老先生とみんなの虫ラボ」展に出品。現在、絵本「へんしんすがたをかえるイモムシ」(福音館書店)の原画が「プラチスラバからやってきた!世界の絵本パレード」展に出品中、2026年まで全国の美術館を巡回。2025年に雷鳥社より動物にまつわるエッセイ集を刊行予定。



ルリタヘの一生とサルトリイバラ



マメクガのひらき

作品集『わたしはイモムシ』(工作舎)  
NY ADC 101st Annual Awardsで  
ブロンズキューブ受賞絵本『へんしん』(福音館書店)  
2023年プラチスラバ世界絵本原画展の  
日本代表に選出

「口ケットに乗らないでも行ける宇宙がある」  
イモムシの宇宙への旅は、すぐ足元の草むらにいつでもひらくかっているのです。

そう遠くない未来に火星で暮らせる時代がやってくると言われていますがイモムシのいない星だとと思うと私は気乗りがしません。むしろこの星をイモムシが安全に暮らせる星に戻して欲しいと願います。

けれどももしこのエッセイが皆さんをイモムシの宇宙へ誘うとすれば、こんなに嬉しいことはありません。

私はイモムシから広がる世界を見ています。たとえば、イモムシの性格にいろいろあるということ。おとなしいイモムシもいれば、すぐに怒るイモムシもいる。逆立ちしてフンを飛ばすイモムシもいたりして、思わず笑ってしまします。こうしてイモムシを観ている時間は人間社会のわざわしさから離れ、違う時の流れに身を置くことができます。不登校の時も、人間関係で悩んでいた時も私はイモムシを眺め、イモムシに救われ

し、写真に残します。

## イモムシ画家の誕生

それから大人になり、イモムシに出会いました。幼虫の体に散りばめられた複雑な模様が、まるで夜空に横たわる天の川のように見えたのです。星座図のようにこの模様全部を一枚の紙に写し取つたらどんなに美しいだろう。そう思い、そのまま持ち帰つて絵を描き始めました。これが『イモムシ画家』のはじまりです。

笑顔になりました。

## イモムシ画家の一日

朝6時頃に起きて虫散策を兼ねた猫さんは散歩に行きます。うちの猫さびちゃんは外を散歩するのが大好きなのです。道路沿いのマンション暮らしなので車を数分走らせた里山で散歩をします。さびちゃんはリードを外しても呼べば戻つてきてくれるので、その間はイモムシを探しま

が向くようになりました。折り重なる

広いその世界に自分もいることを意識した時、小さく見えていたイモムシと自分も変わらない大きさだということに気づかされました。

## イモムシの宇宙

イモムシの自然界での生産率はわずか1%と言われています。羽化不全、天敵の鳥たちや寄生蜂、台風など命を落とす要因はたくさんあります。加えて近年の気候変動です。この先も四季折々、彼らに出会えるのだろうかと心配です。

## 45 桃山鈴子さん

## イモムシのすすめ

地球で  
遊ぼう!

Let's enjoy on the earth

はじめまして。イモムシ画家の桃山鈴子です。イモムシに魅せられてその絵を描くことを仕事にしています。

## 友だちはイモムシ

イモムシとの出会いは小学生の頃でした。私は転校生だったのですが、新しい学校になじめず、不登校になりました。学校を休んでいる時は庭でアリの巣の周りに砂糖をまいて観察したり、マルハナバチを捕まえたり、虫と遊ぶことが樂しみのひとつでした。イモムシは腕に這っていました。ちいさな脚がピトピトと肌に張り付く感じが好きだったので。フチナシにオオスカジバの幼虫をみつけ育したのもこの頃です。

## イモムシ画家の誕生

それから大人になり、イモムシに出会いました。ちよどり人間関係に悩んでいた時、暗い気持ちでうつむいて歩いていたら、イヌザンショウにクロアゲハの幼虫を見つけたのです。私は息をのみました。幼虫の体に散りばめられた複雑な模様が、まるで夜空に横たわる天の川のように見えたのです。星座図のようにこの模様全部を一枚の紙に写し取つたらどうに美しいだろう。そう思い、そのまま持ち帰つて絵を描き始めました。これが『イモムシ画家』のはじまりです。

クロアゲハの幼虫は「イモムシのひらき」第一号となり、後に作品集『わたしはイモムシ』の表紙を飾りました。(写真を参考してください)



アサギマダラの一生、キョランとともに

まず背中から描きはじめたのですが、背中の模様はそのまま左右の側面へお腹まで続いています。このため完成した絵の中で左右の脚の大きさと色が違っています。写真ではなく、飼育観察しながら生きているイモムシを描いたため、脱皮前と後の「イモムシの時間」を絵に閉じ込めることが出来ました。完成した絵は「魚のひらき」のよう。イモムシをひらいた状態になつたので、私は「イモムシのひらき」とよんで「ライフワーク」にしています。



アサギマダラの一生、キョランとともに

# 釣り日記 飼育貢

く、「セレナとカメ吉との日々」としてお話をしたいと思ひます。水槽の前でセレナを観察していると時々お客様に聞かれることがあります。「カメ吉くんはどこですか?」と。皆さんは絵本「ふたりはいつもともだち」をご存じでしょうか? 26年前に起きたセレナとカメ吉の実話なのですが、ご存じない方のために簡単にあらすじをご紹介します。「セレナとアオウミガメのカメ吉はいつも同じプールで仲良くなっています。2人でたくさんのアマモを食べていました。ある日、セレナの食べたアマモのせいかな量を知るため、カメ吉が隣の水

「うー」とじょうか。カメ吉  
は穎やかな性格なのですが、  
成長とともにセレナを追いか  
けぬもうとするなどの発情行  
動が見られるようになります。  
この行動が始まるとセレ  
ナはカメ吉から逃げるように  
なってしまい、セレナへのス  
トレスを避けるためカメ吉と  
別居することになったので  
す。当時は別居することで、  
またセレナの元気がなくなる  
のでは?と心配もありました  
がとくに問題ではなく、セレナ



## 仲良くアマモを食べるセレナとカメ吉



第六章 企业文化的塑造与传播

# 第11回 人魚姫 セレナとの 日々

飼育研究部 半田 由佳理

セレナとカメ吉との日々

槽に移動し、別々に暮らすことになりました。するとセレナが餌を食べなくなってしまったのです。飼育係は原因を考えました。もしかしてカメ吉と離れてしまいセレナは寂しいのではないかと。そこで、カメ吉と同じ水槽に戻したところ、セレナの食欲が戻り元気になった」というヒンズードです。

の心も大人になったのだと思いま  
す。

しかし、カメ吉には時々セレナの運動係として活躍してもらっています。セレナは活動方に泳ぐ性格ではないので、時々運動不足になってしまふことがあります。そうなると食べる餌の量が減り、時には便秘になってしまふこともあります。そんな時はセレナとカメ吉と一緒にします。そして、たくさん泳ぐことで、セレナは運動不足が解消され調子が良くなるのです。カメ吉はセノナに背中を擦つて

少し迷惑<sup>めいわ</sup>そうにも見えますか…。カメ吉は潜水掃除<sup>せんすくそうじ</sup>をしているダイバーに付きまとひ掃除の邪魔<sup>じゃま</sup>をするので、一時的<sup>いっしゅてき</sup>にホールディングプレー（お客様にはご覧<sup>らん</sup>いただけない水槽<sup>みずそう</sup>）にいることがあります。掃除が終われば戻りますので、心配<sup>しゃんぱい</sup>なく。

少し離れてはいるけれど、お隣<sup>となり</sup>どうしでお互い<sup>たがい</sup>の存在<sup>そんぞん</sup>を感じ、時にはふたりで一緒に遊ぶことも。これからもセレナにとってカメ吉はなくてはならない存在で、2人はいつでも友達<sup>ともだち</sup>なのです。



#### 水面に現れたアオリイカ（アカイカ型）



薩摩發祥の餡本



## 水槽へ搬入したアオリイカ



現代の餌木(当時から原型は変わっていない)



釣ったイカは船のカンコ(生け簀)に収容する

【イカ】を知らない日本人はないのではないでしようか。日本には古来よりイカを食す文化があるからだと感じています。ところがイカを飼育したことがある方は少ないはずです。そもそもそのはず、イカは飼育係からしても飼育が難しい動物の一つだからです。その理由の一つに彼らには鱗がないことが挙げられます。例えば定置網の漁をイメージしていくと、網が絞られて中に入った魚がごつた返します。イカも魚と同じように網に入る

表皮が傷だらけになってしまってますが、鱗のないイカは擦過するたびに、回復するかどうかは動物の生命力次第です。となると、より良い状態で生きるものを探すことが重要となります。

そこで当館ではイカを釣るという手段で、長期の飼育に挑んでいます。生物を育てるという観点から考えると、カノンナと呼ばれる針の部分しか体に触れないため、負荷が極めて少ないのです。釣つた直後のイカを見れば一目瞭然で、とても綺麗な状態で捕獲できます。釣りという遊びのイメージがあるかも知れませんが、イカを釣る漁具は餌木と呼ばれ、江戸時代に薩摩地方から生まれたとされる歴史ある漁法の一つです。私もこの餌木を駆使して釣獲しています。

彼らの泳ぐ姿には不思議な力があります。お客様もそれを感じるのか、名前の方々がイカの水槽の前で足を止めます。最後になりましたが当館では「アオリイカ」を10~5月を目安に展示しております。ご来館の際は是非ご覧ください。(動物の状態により展示が出来ない期間もございます。あらかじめご了承下さい)。





# 読者のページ

## LETTERS FROM READERS

☆読者の皆様からのお便りを、お待ちしております。

鳥羽水族館の思い出、質問、何でも結構です。採用させていただいた方には記念品をお送りいたします。

スナメリの「勇気」さんお亡くなりになったんですね。残念です。大往生のことですが、いっしょに暮らした生きものはお別れはつらいものです。私はボランティアで昆虫の飼育展示をしてますが、昆虫は毎年必ずお別れがあるので毎年ペットロスの様な気持ちに悩まされます。いっしょに暮らすカメキチ(クサガメ)は長生きしてほしいです(座敷で放し飼いで暮らしています)。鳥羽へはまだ行けてないですが、一度行きたいですねえ…。

★井家 利之さん(石川県)

ハズパンダリートレーニングというのある事はじめて知りました。動物に負担をかけないように様々な事を考えてくれている事がよくわかりました。今後も動物のために頑張ってください。かげながら応援しています。

★中北 美恵子さん(三重県)

図書館に置いてあったTSA84号を手にした時から、頭の中は鳥羽水族館のことでいっぱいになりました。5月に初めて伺いました。本当に素敵な水族館で未だ余韻に浸っています。暑さに疲れていた日々に85号が届きました!表紙かわいい♡どのページも生きものや海への愛があふれていて鳥羽水族館そのものだなあと楽しく読ませていただきました。特にスナメリ「勇気」の思い出の文や写真が素敵でした。

★福嶋 祐子さん(静岡県)

わたしは水族館の飼育員になるのがゆめです。「獣医のきもち」を読んで飼育員の日常作業の大切さを知りました。これからも飼育員しか知らないうらがわを知りたいです。次を楽しみにしています!

★中村 結花さん(三重県)

生きものたちの健康のために、毎日少しづつ根気よく訓練を続けていらっしゃることにとても心を打たれました。

★針谷 範子さん(群馬県)

★片平 愛莉さん(愛知県)

### お便り・イラスト募集中

引き続きおより・イラスト・写真を募集します。締め切り:2025年2月28日  
【あて先】〒517-8517 鳥羽水族館 T.S.A.編集室(住所不要) メールアドレス:tsa@aquarium.co.jp

鳥羽水族館が開館して来年の2025年で70年を迎えることになった。数字で『70』と表現すれば、何のことではないのだが、よくよく考えてみるとそれは人の一生と同じくらいの年月であるのだ。そう思うと70年という月日にはかなりの時の重みを感じるのである。

飼育研究部の資料がある倉庫(あるいは物置といふ)には、その70年分の飼育記録が保管されている。最近では、資料といえば、パソコンの中にあるデジタルのデータのことを指すのが一般的なのだろう。しかし、この倉庫にあるのは積み重なったファイルやノートだ。つまり紙でできた資料なのである。

水族館では、記録を行う際に昔からノートを使うことが多かった。現在でも記録をとるときには、ノートを使うことが多い。

ノートへの記録は、種ごと、個体ごと、水槽ごとで分けて使用するのが通例だ。表紙には、太いマジックでこれでもかというくらいの大きな文字でタイトルが書かれていることがある。一体どうしてこんなに自己主張が強いのか? 伝統なのだろうか? 新人のころから不思議に感じていたが、意味はなく単に「見えやすい」「見つけやすい」ってだけなのかもしれない。

今の時代にあって、手書きのノートとはアナログも甚だしいと思われるだろうが、アナログ人間の私にとって、ノートの方が何かと都合がいいのである。

デジタルだと、文字を見ても誰が記入したのかわからないものだが、ノートに書かれた文字は誰

か書き込んだのか一目でわかることが多い。大きな文字、小さな文字、綺麗な文字、そうではない文字…いろいろな文字が並ぶ。びつかり文字を書き込む人もいれば、一行飛ばしで余白が多い書き方をするスタッフもいる。一緒に仕事をしているから不思議なものである。

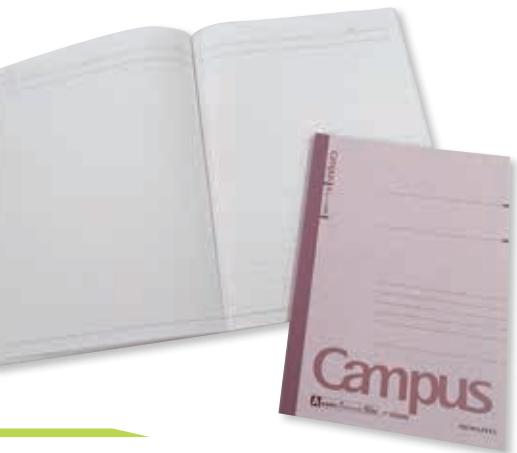
生きものの観察をしながらノートに記録していくと、手の動きが追い付かず「あくま」と叫んでしまうこともよくあった。その暴れている文字が書かれたノートを見かえすのはかなり勇気がいるし恥ずかしい。それに、深夜の観察時に眠気と戦いつつ書いた文字は「ああ頑張っていたんだなあ俺」と開いたノートを手にしてしみじみ思う。

ファイルの背表紙にタイトルを書くのは一般的であろうが、ノートのあの薄い背表紙に、タイトルを書き込むのはとても難しい。そこで活躍するのがボールペンだ。それも、0.38ミリとか0.5ミリといった極細がいい(逆に太めのボールペンが記入しやすいというスタッフもいる)。

倉庫だけでなく、資料が乱雑に積み重なっている私の机から、探し物であるノートを見つけ出るのは一苦労だ。そういう点では、やはりデジタルデータに軍配があがるのも仕方がないのかもしれない。過去の記録調べているときに、ノートを開くとデジタルでは感じない「懐かしさ」がある。あのちょっとした振り返りの時が、私は格別に好きなのである。

## 鳥羽水族館 モノ語り

### NO.38 ノート



が書き込んだのか一目でわかることが多い。大きな文字、小さな文字、綺麗な文字、そうではない文字…いろいろな文字が並ぶ。びつかり文字を書き込む人もいれば、一行飛ばしで余白が多い書き方をするスタッフもいる。一緒に仕事をしているから不思議なものである。

生きものの観察をしながらノートに記録していくと、手の動きが追い付かず「あくま」と叫んでしまうこともよくあった。その暴れている文字が書かれたノートを見かえすのはかなり勇気がいるし恥ずかしい。それに、深夜の観察時に眠気と戦いつつ書いた文字は「ああ頑張っていたんだなあ俺」と開いたノートを手にしてしみじみ思う。

ファイルの背表紙にタイトルを書くのは一般的であろうが、ノートのあの薄い背表紙に、タイトルを書き込むのはとても難しい。そこで活躍するのがボールペンだ。それも、0.38ミリとか0.5ミリといった極細がいい(逆に太めのボールペンが記入しやすいというスタッフもいる)。

倉庫だけでなく、資料が乱雑に積み重なっている私の机から、探し物であるノートを見つけ出るのは一苦労だ。そういう点では、やはりデジタルデータに軍配があがるのも仕方がないのかもしれない。過去の記録調べているときに、ノートを開くとデジタルでは感じない「懐かしさ」がある。あのちょっとした振り返りの時が、私は格別に好きなのである。

# ラッコのオモチャ 大公開

飼育研究部 世古 篠史



どうぐ ゆいいつ かいせい ほにゅうるい  
ラッコは道具を使う唯一の海棲哺乳類です。  
海に浮いているブイやロープ、漁具や海藻など、  
何にでも興味を持ち、遊び道具にすることがあります。  
今回は、「メイ」と「キラ」が鳥羽水族館で  
普段使っているオモチャを紹介したいと思います。



# CLOSE UP

取引先より多くの方々にご列席頂きました。式中では、「水族館に人生を投じられた名誉館長にふさわしい演出を」という想いから、コールドリーフ大水槽を背景に、故人の功績や足跡を振り返る映像が放送され、ご列席の皆様に故人のお人柄を思い出して頂ける温かい式となりました。謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。(中村)

## 名譽館長のお別れの会を開催



## アフリカマナティー「かなた」死亡

アフリカマナティーのオス「かなた」が7月27日に死亡しました。「かなた」は1996年にギニアビサウ共和国からメスの「はるか」と共に入館し、本種では国内唯一の展示で注目を集めました。2014年には「かなた」が亡くなつた後はメスの「みらい」が亡くなつた後はメスの「みらい」と2頭で暮らしていながら繁殖には至りませんでしたが、残念ながら繁殖には至りませんでした。「かなた」は底で仰向けて暮らしていました。



地震津波避難訓練を開催



# 出来事

2024年5月～10月

30日	20日	8日	7日	6日	28日	27日	26日～27日	21日	20日	17日	9日	7日	
★オタリアの赤ちゃんが誕生、名前は「むぎ」に	10月 にパラオオウムガイが入館	鳥羽水族館は友好協力協定を締結しているパラオ国際サンゴ礁センター(P-ICRC)の協力のもと、パラオオウムガイの採集・輸送を行っています。オウムガイは仲間は個体数が減少しており、保護のため国際取引に制限が設けられ、入手が困難になっています。現在、日本国内でパラオオウムガイを展示しているのは当館のみとなっています。	8月 にオタリアの「がっちゃん」が赤ちゃんを出産しました。無事に生まれた仔は、「がっちゃん」にしつかり育てられ、すくすく大きくなりました。生まれた時から変わりますが、泳ぎ方や一頭で遊んで	10月 にパラオオウムガイが10個体入館しました。	10月 にパラオオウムガイが入館	8月 にオタリアの「がっちゃん」が赤ちゃんを出産しました。無事に生まれた仔は、「がっちゃん」にしつかり育てられ、すくすく大きになりました。生まれた時から変わりますが、泳ぎ方や一頭で遊んで	8月 にオタリアの「がっちゃん」が赤ちゃんを出産しました。無事に生まれた仔は、「がっちゃん」にしつかり育てられ、すくすく大きになりました。生まれた時から変わりますが、泳ぎ方や一頭で遊んで	6月 にセイウチふれあいタイムで海難事故のお客様からの愛称募集を行い、1000通を超える応募の中から「むぎ」に決定しました。素敵な名前を応募していただきありがとうございました。(八幡)	6月 にセイウチふれあいタイムで海難事故のお客様からの愛称募集を行い、1000通を超える応募の中から「むぎ」に決定しました。素敵な名前を応募していただきありがとうございました。(八幡)	6月 ★中村幸昭名譽館長のお別れの会を開催	5月 セイウチ「ヅララ」誕生日イベントを開催	5月 カリフォルニアアシカ「みかん」死亡	5月 新米飼育係が田んぼ水槽で田植え
★オタリアの赤ちゃんの愛称が「むぎ」に決定	10月 ★パラオオウムガイによるお食事タイム	9月 ★スペングラーヤマガメ1個体孵化	9月 ★アフリカマナティー「かなた」死亡	9月 ★セイウチふれあいタイムで海難事故の企画展	9月 ★ラッコたちが一日警察署長に就任	9月 ★スナドリネコ「ブサ」を千葉市動物公園へ搬出	9月 ★スパングラー・ヤマガメ1個体孵化	9月 ★オタリアに赤ちゃん誕生	9月 ★オタリアに赤ちゃん誕生	9月 ★オタリアに赤ちゃん誕生	9月 ★オタリアに赤ちゃん誕生	9月 ★オタリアに赤ちゃん誕生	
★オタリアの赤ちゃんの愛称が「むぎ」に決定	10月 ★パラオオウムガイ10個体入館	10月 ★スパングラーヤマガメ1個体孵化	10月 ★アフリカマナティー「かなた」死亡	10月 ★セイウチふれあいタイムで海難事故の企画展	10月 ★ラッコたちが一日警察署長に就任	10月 ★スナドリネコ「ブサ」を千葉市動物公園へ搬出	10月 ★スパングラーヤマガメ1個体孵化	10月 ★オタリアに赤ちゃん誕生	10月 ★オタリアに赤ちゃん誕生	10月 ★オタリアに赤ちゃん誕生	10月 ★オタリアに赤ちゃん誕生	10月 ★オタリアに赤ちゃん誕生	

# 鳥羽水族館 スケジュール (2024年12月1日現在)

1月



イメージ

お正月イベント  
蛇蛇蛇神社  
期間：12月29日(日)～  
2025年1月6日(月)

2月

3月

4月

5月

春の企画展  
～開館70周年特別展～  
鳥羽水族館タイムトラベル  
期間：2025年3月20日(木・祝)～  
6月1日(日)



詳しい日時についてはホームページでご確認ください。なお、動物の健康状態などにより変更や中止の場合があります。

## クイズ&プレゼント Quiz & Present

Q. 開館70周年を迎えた鳥羽水族館のルーツはなんでしょう？

1: お寿司屋さん

2: 魚屋さん

3: 漁師さん

ヒントは  
特集ページに  
あるよ！

正解者の中から抽選で3名様に

「70周年おたのしみ袋」をプレゼントいたします。

クイズの答え、住所、氏名、電話番号、感想をご記入の上、ご応募ください。

締切は2025年2月28日(必着)で、当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

あて先：〒517-8517 (住所不要)

鳥羽水族館 T.S.A. 編集室



## スーパーの84 祝・70周年 ミズクラゲ



定期購読  
方法の  
ご案内

郵便払込み（青色用紙）でお申し込みください。

加入者名：鳥羽水族館 T.S.A. 編集室

口座記号番号：00890-7-188305

料金

1年分 420円、2年分 840円です。

通信欄に氏名、住所、電話番号、何号からの購読希望か、購読期間は1年か2年かをお書きください。

【動物取扱業に関する表記】

鳥羽水族館：三重県鳥羽市鳥羽 3-3-6 種別：展示 志摩第18-1号 2006年6月1日 登録更新：2021年6月1日 有効期間：2026年5月31日まで 動物取扱責任者氏名：長谷川一宏